

令和5年度 農業農村整備事業等補助事業事後評価技術検討会「八斗木地区」委員からの質問事項について(回答)

評価項目	質問事項等
3. (1) 農作物の生産量の変化	<p>1 八斗木白葱の生産における課題と将来展望について</p> <p>【委員質問】</p> <p>(齊藤委員)：ねぎは計画 30ha に対して事後 25ha と達しなかった要因は何か。今後も増産を目指すのか。 また、ねぎの生産は八斗木地区だけか、国見の周辺地域でも作られているか。 ねぎの共同育苗施設に触れた評価がなく共同で行われている取組について何らかの評価を。併せて販売の部分も協力して何かやっていけるところが出てくればいいが。</p> <p>(古賀委員)：出荷の段階、水洗いだとかは個別の農家単位でやっている。もう少し共同化なり省力化されたら作付面積が増えるのかどうか。</p> <p>(豊 委員)：土地に対する生産量という意味での生産上の問題とか生じていないのか危惧した。ねぎを何回も同じ場所で作っていくと連作障害が出ないか。</p> <p>(回答)</p> <p>八斗木白葱生産部会が取り扱う作付面積は、直近の令和4年度では地区内 25ha、地区外 12ha、計 37ha（部会員 19 名、地区内 17 名、地区外 2 名）となっている。地区内においては、ねぎ周年栽培による連作障害は発生していないが、発生が懸念されており、地力低下への対応も含めて、ねぎ収穫後ににんじんや緑肥栽培（ひまわり）による輪作にて連作回避や土づくりに取組むローテーションが行われている。このため、ねぎは計画作付面積には至っていない状況にある。</p> <p>にんじりは、隣接する島原市有明町にて盛んに生産されており、有明地区選果場の更新に合わせて国見町への産地拡大が推進（H25 導入）されている。にんじりはねぎ連作における輪作作物に適しており、また、かんがい用水を必要とする作物のため、生産基盤条件を満たした本地区への作付け拡大に繋がっている。</p> <p>本地区の計画策定当時は本地区周辺の農地は未整備農地が多く、ねぎは本地区内にて計画目標 30ha を目指す方針であったが、本地区の事業完了後に隣接する宮田地区にて基盤整備事業が着工されるなど、地区外農地を含む地域の生産環境が変わってきており、本地区内のねぎはにんじんととの輪作を図りつつ、現状程度を維持し、近傍の地区外農地とのローテーションも踏まえた作付け拡大を検討していく方針へ変化している。</p> <p>また、個別農家が行っているねぎの出荷作業については、既存の集荷場が手狭で出荷調整を行うスペースが不足しており、これら出荷作業を共同化するにはJAにて集出荷場の拡充や新設が必要となるが、これらの共同化は手数料が高いため、ねぎの収益確保を踏まえ今後とも個別農家において出荷作業を行うこととしている。</p> <p>上記のねぎの作付面積が計画目標に至らなかった要因については、評価結果書へ反映した。</p>

評価項目	質 問 事 項 等
4. (1)①農業生産性の向上	<p>2 だいこん、ブロッコリーが現況単収より減少した要因について</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【委員質問】 (豊 委員)：単収の減少が気象の影響とかおっしゃったんですけれども、5年間分を平均したものであれば影響は割と緩和されてくるので、例えば大根とかブロッコリーは下がっているんですけれども、土地に対する生産量という意味での生産性の問題とかが生じていないのかちょっと危惧したものです。</p> </div> <p>(回答) ブロッコリーの単収については市町村の公表値が無く、長崎県の5カ年平均値（H30～R4）1,028 kg/10a を用いている。 長崎県産のブロッコリーは収穫期が1月～3月のところ、近年は全国の市場出荷量が低下し販売単価が高い4月～6月の出荷（北海道・東北の本格出荷前まで）を狙った後ろ倒しの生産に取組まれており、春季の気象不安定化の影響を受けやすいことから、近年の単収は若干下回って1,020～1,050 kg/10a で推移している。</p> <p>だいこんについては市町村の公表値があり、雲仙市の秋だいこんの4カ年平均値（H30～R3：R4から非公表の扱い）8,759 kg/10a を用いている。 だいこんは県下に広く作付けされているが、雲仙市のだいこんの単収は長崎県平均単収6,710 kg/10a より1.3倍と高い。これは島原半島のだいこんは漬物等の加工用に適した品種が多いことによる。しかしながら、近年は漬物消費の減少、中国産輸入だいこんの増加と相まって取引単価が低下しており、ほ場内廃棄の増加や作付減少、青果用への転換が見られ、市場の求めるサイズへの変化により、近年では8,600～9,000 kg/10a で推移している。</p> <p>ブロッコリー及びだいこんの生産性を確認した結果を踏まえ、ブロッコリーは春季の作型変更により気象不安定化の影響を受けやすくなっていること、だいこんについては市場の求めるサイズへの変化による旨、評価結果書の農業生産性の向上へ反映した。</p>

評価項目

質問事項等

4. (3)①環境保全型農業の取組

3 八斗木白葱の環境保全型農業の取組について

【委員質問】

(原口委員)：環境保全型農業の取組で有機質資材というのは具体的にはどういったものか。取組チェックも具体的にどういったことをされるのか。

(籾井委員長)：よろしければ、有機質資材に括弧書きで畜産堆肥等と書かれたらいいと思います。

(齊藤委員)：環境保全型農業が何かということとをちょっとつけ加えて説明を(追記されたい)。

(回答)

雲仙ブランド作物の認定には、5つの認定基準を一つ以上満たし、かつ、農畜水産物については栽培履歴の開示ができることが求められている。

八斗木白葱は、この認定基準のうち

- 生産・製造等において環境に配慮した取組や自然が本来持っている機能を活用した栽培・生産方法を取り入れていること

- 農畜水産物などが、他地域で生産されている類似の商品とは生産・特徴の面において差があり、市場などから品質面において優れていると認められているものに該当し、部会員全員が長崎県エコファーマーの認証を受けて環境保全型農業(有機たい肥等による土づくり、減化学肥料、減農薬)に取組み、かつ、栽培履歴が開示できるように薬剤使用の履歴記録、残留農薬検査及びそれらの相互チェックに取組んでいる。また、八斗木白葱は太くて長く、甘いのが特徴で他産地のねぎと比べて日持ちが良く、変色が少ない等の差がある。

環境保全型農業の取組として有機たい肥等による土づくりがあり、本地区では有機肥料(島原半島内の畜産肥料)、土と混合して肥料成分を薄め発酵したぼかし堆肥、緑肥等が施用されている。

上記について、評価結果書の環境保全型農業の取組内容へ反映した。

白ねぎ 病害虫防除履歴(2023年) JA島原雲仙 ()地区営農センター

検査日: 2023年6月28日 検査場所: 見越 菜園 検査者: 藤原 亮

検査内容: 2023年6月28日

薬剤名	使用基準	使用日	使用量	確認者
...

薬剤名と使用基準

使用日

検査成績書

受入日: 2023年6月21日
検査品名: 白ねぎ(宮崎 弘明) 北部基幹営農センター
製造年月日: ****

検査項目: スクリーニング検査(2023年度) 以下農自

検査項目	結果	単位	定量下限値	検査方法
...

検査項目(スクリーニング検査)

残留農薬分析結果報告書

検査センター: 残留農薬検査センター

No.	分析農薬	分析値	No.	分析農薬	分析値
1	...	不検出	51	...	不検出
...
50	...	不検出	100	...	不検出

検査結果は「不検出」

No.	分析農薬	分析値	No.	分析農薬	分析値
101	...	不検出	182	...	不検出
...
200	...	不検出	202	...	不検出

白ねぎ病害虫防除薬剤防除履歴

残留農薬分析結果検査成績書

(検査結果は「不検出」)

評価項目	質 問 事 項 等
4. (2)③農村協働力と美しい農村の再生・創造	<p data-bbox="516 235 878 268">4 後継者の育成について</p> <div data-bbox="516 319 2807 588" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p data-bbox="540 327 700 361">【委員意見】</p> <p data-bbox="540 369 2795 495">(齊藤委員)：小学生が増えたは良いが、担い手になるには大分先の話。後継ぎの解消までにはまだ至っていないというのが現地の声だった。担い手という部分で何か取組を続けていくというか、現状で楽観視はできない。販売などの産業が別に起こって、そこで働く若い人が増えていくと、農家が今度、会社組織になってそこで働く人がUターンで帰ってくる、そういう形になっていけばいいなと思いますけどね</p> <p data-bbox="540 504 2689 579">(古賀委員)：6次産業化については関心がない。イベントのときなどには出していてレシピはあるけれども、それをどうするかということはまだあまり考えていない。限りなく計画目標を目指していくという方向に向けた、何らかの課題整理がポイントとなる。</p> </div> <p data-bbox="516 638 623 672">(回答)</p> <p data-bbox="563 680 1941 714">八斗木白葱を食育や学校給食等へ提供する等の機会があればと思うが、今のところ機会はない状況。</p> <p data-bbox="540 722 2807 806">PR活動については、本地区の主要作物である八斗木白葱は県内においても他に生産地が無く、本地域特有の作物として雲仙ブランド作物にも認定されており、本地域における以下の催し等においてPRに取り組まれている。</p> <p data-bbox="563 814 2629 848">しかしながら、これらの他にイベントやまつりの機会が乏しく、JAへの全量出荷で地域がまとまっていることもあり、他にはPRに取り組まれている。</p> <p data-bbox="563 907 878 940">① 雲仙市産業まつり</p> <p data-bbox="658 949 2807 1125">毎年12月第一日曜日に開催される雲仙市の特産品や物産等の市内外へのPRを目的として開催されるまつり 雲仙市役所のある吾妻町（JA全農ながさき県南家畜市場）にて開催されており、まつり内の特産まんぞく市へ80を超える団体等が参加。 八斗木白葱生産部会にて参加し、ねぎの出店販売を行っており、青果販売のほか、生産部会女性部が研究されたレシピから、ねぎの天ぷら（かき揚げ）が試食提供されている。（他にお好み焼き、じゃことチーズの包み焼、ねぎと豚肉のしゃぶしゃぶなどのレシピを保有）</p> <div data-bbox="2047 1129 2706 1348">  </div> <p data-bbox="563 1310 1222 1344">② 神代鍋島まつり（こうじろなべしままつり）</p> <p data-bbox="629 1352 2332 1436">雲仙市国見町神代地区にて、11月中旬～2月頃までの期間中の土日に各種イベントが開催されるまつり。 イベント期間中は、神代楽市楽座として地元農産物・特産物の販売が行われており、ねぎを含めた農産物販売が行われている。</p> <div data-bbox="2047 1465 2368 1717">  <p data-bbox="2119 1680 2297 1713">神代楽市楽座</p> </div>

評価項目	質 問 事 項 等
4. (2)①担い手の体質強化	<p data-bbox="519 235 934 268">5 認定農業者の内訳について</p> <div data-bbox="519 319 2804 457" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p data-bbox="540 327 697 361">【委員質問】</p> <p data-bbox="540 369 2789 449">(能本委員)：認定農業者が、計画時点、現況、計画、評価時点は全員 17 名ですけれども、同じ方がずっと 17 名でやっているのか。新陳代謝が図られて、引退された方、新規でやられている方、入れ替わりで新しい方々が就いて担い手として活躍しているのか。</p> </div> <p data-bbox="528 508 623 541">(回答)</p> <p data-bbox="540 550 2813 676">八斗木集落内の農業者は 27 名存在していたが、事業計画時において担い手（認定農業者）はこのうち 17 名で、残る 10 名の農業者はこれら担い手へ農地を集積していく計画として設定しており、事後評価時点におけるこれら担い手（認定農業者）は 17 名と数の上では変化が無いが、このうち 3 名については後継者が就農して、代替わりをしていることから。本地区の担い手（認定農業者）は若返りが図られている。</p> <p data-bbox="540 684 2813 764">また、残る 14 名の担い手においても半数（7 名）は親元就農しており、将来の後継者として継承すべく営農に頑張られているほか、まだ、県外市外へ出られている方や就学中の潜在的な後継候補者が存在している。</p>

評価項目	質 問 事 項 等
事後評価結果	<p data-bbox="519 233 934 268">6 作物のブランド化について</p> <div data-bbox="519 317 2804 724" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p data-bbox="549 323 697 359">【委員意見】</p> <p data-bbox="549 369 2789 447">(能本委員)：事後評価の結果で、ブランド化の内容をどういうふうにお考えかを少しお伺いできれば。八斗木ニンジンとかというふうに持っていくというふうにお考えですか。</p> <p data-bbox="727 457 2789 535">補足するとネギだけというわけではなくて、それを支えるものとしてニンジンとかブロッコリーとか収益性の高いものがもちろん必要、その上でネギをいかに推していくか、そこを支えるニンジンを維持していくかという視点です。</p> <p data-bbox="727 546 2789 623">一言でブランド化というのはありますけれども、単純に書いてしまっているのかなというのが個人的に気になったので、もう少し丁寧な記述が必要ではないかなと。</p> <p data-bbox="549 634 2789 711">(靱井委員長)：すぐのブランド化の可能性があるのであればこれでいいかと思えますけれども、まだこれからのようですので、少し書き方を検討されて、次回ご提出いただければ。</p> </div> <p data-bbox="519 772 623 808">(回答)</p> <p data-bbox="549 819 2804 940">本地区における農作物のブランド化は、既に雲仙ブランドに認定されている八斗木白葱のみであり、ねぎ以外のにんじんは島原市有明町にて生産が盛んであり、ブロッコリーについても雲仙市吾妻町を中心に生産拡大に取り組まれていることから、これら作物のブランド化は主生産地域において取り組まれるもので、本地区では考えられてはいない。</p> <p data-bbox="578 951 2804 1029">このため、事後評価の結果欄におけるブランド化の記載についてはねぎのみとし、にんじん及びブロッコリー等の他作物の取扱いはねぎとの輪作を兼ね、所得を補助する作物として修正する。</p> <p data-bbox="549 1087 1187 1123">上記について評価結果書の総合結果へ反映した。</p>

評価項目	質問事項等
------	-------

5. (1) 自然環境

7 石積み棚畑の景観の活用について

【委員意見】
 (齊藤委員)：景観保全に役立てるという表現があって、石垣がすごく、あれを何かいろんな取組が全然なされてないのか。普通何かありますよね、景観何とか百選ではないけど、八斗木ネギのブランド化にも役立つのではないかと、あれを役立てるというのが今後の課題ではないのか。
 (能本委員)：その絶景ってあそこにしかない独特の景観だったと思いますし、すき込みのためヒマワリを植えているということであれば、そこを活用した何かしらの地域振興みたいな視点があるとブランド化にいろんな形で役に立つのではないかなと。

(回答)
 中山間地域に広がる棚田については、その独特な景観美は日本の原風景と言われ、その棚田についてもっと理解を深めてもらうことを目的として「日本の棚田百選」の取組が全国の棚田を対象に行われており、長崎県内には6カ所の認定地があります。
 長崎県ではこれら棚田の他、県独特の風景であるだんだん畑（棚畑）を高齢化や後継者不足など、農村が抱える問題をの問題を解決するため地域が一体となって取組むきっかけとなることを目的として「長崎県だんだん畑十選」を認定しており、県内12カ所の認定地のうち雲仙市及び南島原市から3カ所が認定されています。
 これらの景観地の認定には、農山村の美しい景観を有していることや農業生産活動を通じて生態系や農業土木技術、農地や農業用施設の維持保全が将来にも継続されていくことが求められています。八斗木地区においても、こうした近隣の取組を参考に特徴的な景観を地域振興に活用していくことが期待されます。



「日本の棚田百選」及び「長崎県だんだん畑十選」認定地